

平成17年3月9日

報道各位

新日鉱グループ
日鉱金属加工株式会社

豊山日鉱錫めっき(株)における錫めっき設備の新ラインの稼動について

1. 新日鉱グループの日鉱金属加工株式会社(本社:神奈川県高座郡寒川町倉見、社長:足立吉正、以下「日鉱加工」という。)と株式会社豊山(本社:韓国ソウル市、社長:李文源、以下「豊山」という。)との共同出資による豊山日鉱錫めっき株式会社(本社:韓国ウルサン広域市ウルジュ郡、社長:崔漢明、以下「PNTC」という。)は、このほど、かねて増設を進めてまいりましたリフロ-錫めっき設備の新めっきラインを完成させました。
2. この新めっきラインは、分速30mを超える処理速度を有し、生産能力は700t/月。これにより、既設リフロ-錫めっき材の生産ライン2設備(生産能力は1,100t/月)と合わせ、生産能力は1,800t/月に増大することとなり、同社は、世界最大規模のリフロ-錫めっき専業メーカーとなりました。
また、日鉱加工倉見工場のリフロ-錫めっき材生産能力1,800t/月と合わせますと、日鉱加工グループとしての生産能力は3,600t/月となります。
3. 錫めっき材は、電気伝導性や耐食性に優れており、電気接点や各種端子に不可欠な素材であります。とりわけ、リフロ-錫めっき材は、耐ウイスキー性にも優れる特長から、電気電子機器・自動車等の各種コネクタ-、端子、スイッチ等への需要は、今後大きく増大していくものと予想しております。
PNTCとしては、新めっきラインの稼動により、リフロ-錫めっき材の需要拡大、特に市場拡大が期待される東南アジア地区の顧客に対し、より一層タイムリーな対応が可能となります。

以上

(ご参考) PNTCの概要

会社名 : 豊山日鉱錫めっき株式会社
所在地 : 韓国ウルサン広域市ウルジュ郡(豊山温山工場内)
資本金 : 20億ウオン
設立年月 : 2001年6月
売上高 : 61億ウオン(2004年)
出資比率 : 豊山60%、日鉱金属加工40%
主要事業 : リフロ-錫めっき加工業
生産能力 : 1,800t/月(約20,000t/年)
生産設備 : めっきライン 3設備

お問い合わせ先 :

日鉱金属加工株式会社 経營業務部(総務担当)矢澤, 平井 : 0467-75-0611